



# 平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月6日

上場会社名 株式会社東計電算  
コード番号 4746 URL <http://www.toukei.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 甲田 博康

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 甲田 英毅

TEL 044-430-1311

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	10,014	3.3	1,882	2.1	2,039	2.8	1,407	8.0
28年12月期第3四半期	9,692	0.8	1,843	4.3	1,983	5.2	1,302	4.9

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 1,697百万円 (114.8%) 28年12月期第3四半期 790百万円 (16.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	153.37	152.78
28年12月期第3四半期	142.62	142.29

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第3四半期	24,243	20,463	84.3	2,225.80
28年12月期	22,819	19,376	84.8	2,111.19

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 20,444百万円 28年12月期 19,351百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		70.00	70.00
29年12月期		0.00			
29年12月期(予想)				80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、「取締役会の決議により、毎年6月30日を基準日として、中間配当を行うことができる。」旨を定款に定めております。

## 3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,667	8.5	2,643	8.7	2,924	9.2	2,014	10.6	219.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料の7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期3Q	9,350,000 株	28年12月期	9,350,000 株
-----------	-------------	---------	-------------

期末自己株式数

29年12月期3Q	164,727 株	28年12月期	183,927 株
-----------	-----------	---------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期3Q	9,175,576 株	28年12月期3Q	9,132,023 株
-----------	-------------	-----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(四半期連結損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間) .....	5
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間) .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(会計上の見積りの変更) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
3. その他 .....	8
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米金利上げ観測を主因とした円安や海外経済の成長を背景に輸出が好調なほか、個人消費や設備投資など内需も堅調に推移し、国内総生産（GDP）は6期連続成長を記録しました。景気の先行きにつきましては、国内需要や輸出が増加基調をたどり、「緩やかな拡大を続ける」との見通しを据え置いておりますが、企業収益が改善し、労働市場の逼迫が続く中、賃金上昇の動きは鈍いままとされており、デフレ脱却には至っておりません。

当業界におきましても、海外景気や個人消費の回復を背景にユーザ企業の情報化投資が活性化し、モバイル、クラウド、ビッグデータ、ソーシャルネットワーク、IoT（Internet of Things）等の最新技術を活用した商品開発やサービスの提供に期待が寄せられております。

このような環境のなかで、当社グループは、システムインテグレータとして、多様化するお客様のニーズにフレキシブルに対応するため、業種別ソリューション、アウトソーシング、ネットワークの3つの重点戦略を掲げ、積極的に営業展開を進めてまいりました。

具体的には、①ソフトウェア開発業務売上拡大のための商品力強化、②業種別ERPの促進、③システム運用業務売上拡大のための運用管理業務の商品化とその促進、④社員教育の拡充を重点施策として掲げ、取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高100億14百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益18億82百万円（同2.1%増）、経常利益20億39百万円（同2.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益14億07百万円（同8.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①情報処理・ソフトウェア開発業務

情報処理・ソフトウェア開発業務としましては、ソフトウェア業務、システム運用業務、ファシリティサービス業務等であります。当第3四半期連結累計期間においては、システム運用業務が堅調に推移するとともにソフトウェア開発業務においても受注が堅調となり、売上高は88億46百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は17億09百万円（同2.9%増）となりました。

#### ②機器販売業務

機器販売業務としましては、当社で開発したシステムに必要なハードウェアの販売等であります。当第3四半期連結累計期間においては、ソフトウェア開発の受注拡大に伴い販売数量は増加したものの、比較的利幅の低い案件が多かったため、売上高は9億05百万円（前年同期比16.6%増）、営業利益は1億19百万円（同4.2%減）となりました。

#### ③リース等その他の業務

リース等その他の業務としましては、各種事務用機器のリース、ビル・マンションの不動産賃貸業務であります。当第3四半期連結累計期間においては、主要な取引先である建設業界の受注環境が前期に比べて改善したものの減価償却費等の費用がかさみ、売上高は2億61百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は53百万円（同6.6%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は242億43百万円となり、主として投資有価証券等の増加により前連結会計年度末に比べて14億23百万円増加しました。総負債は37億79百万円となり、主として賞与引当金等の増加により前連結会計年度末に比べて3億35百万円増加しました。純資産は204億63百万円となり、主として利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べて10億87百万円増加しました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年8月7日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想及び配当予想につきましては、当社グループが発表日現在において入手可能な情報による判断及び仮定により算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要素や今後の経済状況、環境の変化等により、実際の業績及び配当は当該予想と異なる場合がありますのでご承知おきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,135,455	892,789
受取手形及び売掛金	1,809,948	2,137,808
有価証券	44,023	288,617
商品	10,450	10,262
仕掛品	784,414	799,629
繰延税金資産	124,658	201,435
その他	213,295	121,553
貸倒引当金	△1,049	△1,239
流動資産合計	4,121,197	4,450,857
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,208,843	2,090,472
機械装置及び運搬具(純額)	40,110	36,837
土地	4,385,990	4,385,990
その他(純額)	494,744	530,676
建設仮勘定	56,929	240,529
有形固定資産合計	7,186,618	7,284,507
無形固定資産		
のれん	—	8,499
その他	7,285	7,170
無形固定資産合計	7,285	15,670
投資その他の資産		
投資有価証券	11,465,509	12,443,457
その他	39,285	48,967
貸倒引当金	△8	△4
投資その他の資産合計	11,504,786	12,492,421
固定資産合計	18,698,690	19,792,599
資産合計	22,819,887	24,243,456

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	430,081	468,812
未払法人税等	470,200	315,160
賞与引当金	249,569	542,687
役員賞与引当金	9,360	—
その他	1,520,026	1,572,289
流動負債合計	2,679,237	2,898,949
固定負債		
役員退職慰労引当金	24,253	24,734
退職給付に係る負債	17,329	1,446
繰延税金負債	716,025	847,609
その他	7,013	7,013
固定負債合計	764,621	880,803
負債合計	3,443,859	3,779,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,370,150	1,370,150
資本剰余金	1,372,606	1,382,232
利益剰余金	15,227,086	15,992,706
自己株式	△274,591	△246,457
株主資本合計	17,695,252	18,498,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,725,390	2,006,634
退職給付に係る調整累計額	△69,334	△60,686
その他の包括利益累計額合計	1,656,055	1,945,947
新株予約権	24,319	18,716
非支配株主持分	401	407
純資産合計	19,376,028	20,463,703
負債純資産合計	22,819,887	24,243,456

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	9,692,924	10,014,137
売上原価	6,461,088	6,632,496
売上総利益	3,231,836	3,381,640
販売費及び一般管理費	1,388,429	1,499,278
営業利益	1,843,407	1,882,362
営業外収益		
受取利息	13,566	32,709
受取配当金	161,146	191,064
有価証券売却益	66	56,342
有価証券償還益	—	2,062
貸倒引当金戻入額	—	0
雑収入	12,615	15,369
営業外収益合計	187,395	297,549
営業外費用		
支払利息	139	64
有価証券売却損	24,014	134,791
有価証券償還損	21,087	2,630
デリバティブ評価損	557	—
雑損失	1,755	3,315
営業外費用合計	47,555	140,802
経常利益	1,983,247	2,039,108
特別損失		
固定資産除却損	347	1,509
投資有価証券評価損	52,080	—
特別損失合計	52,427	1,509
税金等調整前四半期純利益	1,930,819	2,037,599
法人税、住民税及び事業税	681,015	703,187
法人税等調整額	△52,634	△72,848
法人税等合計	628,380	630,339
四半期純利益	1,302,439	1,407,259
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,302,424	1,407,244

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,302,439	1,407,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△517,988	281,244
退職給付に係る調整額	5,672	8,648
その他の包括利益合計	△512,315	289,892
四半期包括利益	790,123	1,697,152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	790,109	1,697,136
非支配株主に係る四半期包括利益	14	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

法人税等及び繰延税金資産の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しましては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等、且つ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年 1月 1日 至平成28年 9月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	情報処理・ ソフトウェア開発業務	機器販売業 務	リース等そ の他の業務	計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額（注）
売上高						
(1)外部顧客への売上高	8,669,691	777,262	245,971	9,692,924	—	9,692,924
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,346	—	1,704	5,050	(5,050)	—
計	8,673,037	777,262	247,675	9,697,975	(5,050)	9,692,924
セグメント利益	1,661,170	125,058	57,178	1,843,407	—	1,843,407

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年 1月 1日 至平成29年 9月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	情報処理・ ソフトウェア開発業務	機器販売業 務	リース等そ の他の業務	計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額（注）
売上高						
(1)外部顧客への売上高	8,846,709	905,943	261,484	10,014,137	—	10,014,137
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,620	—	1,822	3,442	(3,442)	—
計	8,848,329	905,943	263,307	10,017,580	(3,442)	10,014,137
セグメント利益	1,709,195	119,755	53,411	1,882,362	—	1,882,362

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。